

## 元寮生・訓練生は今…



元気かな～



2019年1月(23期生)開始の合宿訓練に参加したS君(当時29歳)に話を聞きました。

参加する前は2年ほどひきこもっていた。半年ほど働いていた工場でケガをして入院し、退院後ひきこもった。ひきこもっている間に月1回程度相談機関には通っていたが、状況は変わらないままだった。ある日、YSCの施設見学会を知り参加。見学会終了後に話したスタッフ(現事務局長)の印象がよく、この出会いがなければ参加していなかったかも?と思うが、申込期日ギリギリまで迷ってもいた。

23期生は2名だけだったが、それもボクにとってはよかった。以前、合宿生活の経験があったので、訓練ですごく嫌だったことはなかった。むしろ結構自由だと思った。食事の要不要も平日の申請はいらないし、自由時間は本当に自分で監視されないのがよかった。かといって自由過ぎると何をしていいか分からぬが、土日実家に帰らない時には、自分からは誘えないが、スタッフから声をかけてもらい体育館へ行ったり、河川敷に行ったりした。窮屈に感じなかつたし、今思えばすごくよかった。

23期は3か月間の訓練だったので、職場実習は1か所だけで、高齢者のリハビリディサービスの事業所に行った。介護業界であれば将来性もあり、自分の中で選択肢としてあったので選んだ。実習中は何をするべきいいんだろう?これでいいのかな?と思うことも多々あったが、実習のメインは高齢者の方の話し相手。手持無沙汰になることも多かったが、高齢者の方が気を遣ってくれて話しかけてくれたりして嬉しかったし、自信になった。実は以前、障害者の学童保育で実習をしたことがあったが、1~2時間誰にも声をかけられず、職員に「今日は何をしてきたの?」と聞かれ、「何もしていないです」と返答すると突っ込まれることがあった。

就活ではいくつか応募したが、面接で“ブランクやひきこもり経験があるならムリでしょ!”と言われ不採用になったこともあったので、今の職場(特養M)での面接では、過去のことも伝え、自ら週3~4日で週20時間未満の勤務を申し出た。介護に絞っていたわけではないが、スタッフに「特養Mは自然豊かでいいんじゃない?」と背中を押され、こぢんまりとしている施設なのもよかったです。都内でもかなり田舎にあるこの施設はなかなか人材が集まらないようで、面接したその日に採用が決まった。入社後しばらくして「アンタが来る時大変だったんだからね~!」と言われたが、どうやらボクが入社する際“こんな子が来るからみんな優しくしてあげてね!”と言ってくれていたらしい。

(7月号につづく)

### ◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】17歳~42歳 【平均年齢】26.3歳

【状況】6月27日で退所する47期生は全員就職先が決まり、一人暮らしを開始します。無事就労先が決まってホッとしたのもつかの間、新しい生活に不安と期待が入り混じっているようです。

### ◆編集後記◆

今月はNetflixやフランスのテレビ局、大学の教授や自治体から取材・視察の依頼、お問合せの多い月でした。お断りしたものもありますが、若者の抱える課題や置かれた環境に社会が関心を持っている表れでもあると感じています。

ハア~気温34℃!!!急に真夏になりましたね。日傘新調しました。日傘に6千円超とかえええー!高っ!と思いつつ、レビューを見てモ○ベルの品を購入。あだち・いたばし・本部と移動の多い私の必須アイテムです。みなさんはどんな暑さ対策をされていますか?

### 今月の1枚



学習室のホワイトボードに書いてありました。上手すぎる!!